

『吾輩は猫である』

- 猫目線で見る人間社会
  - 最大の特徴 → 名前のない一匹の猫が語り手
  - 猫目線 
    - 人間たちの生活や行動が鋭く観察
    - 皮肉を込めて描写
  - 内心まで読み取る猫
    - 普段見えないものが浮き彫りに
    - ・本音と建前の違い
    - ・人間社会の矛盾
- 明治時代の社会風刺
  - 鋭い批判 → 当時の知識人や実業家たちの言動
  - （例）
    - 
      苦沙弥先生
      - 西洋の学問を身につけた知識人
      - 現実社会にうまく適応できない
    - 
      金田家
      - 実業家の金田家の描写
      - 拝金主義や立身出世主義への指摘
  - 表向き：軽妙洒脱な物語 → 実際は当時の問題を鋭く指摘
- 個性豊かな登場人物
  - 魅力 → 人間模様や軽妙な会話
  - 
    登場人物
    - 喜劇のような掛け合い、思惑が絡み合うさま
    - ・珍野苦沙弥（主人公） → 偏屈で胃弱
    - ・迷亭（友人） → でたらめばかり
    - ・鼻子（金田家の母親） → 横柄な態度